



東京アースライド2010 事業報告書

財団法人 日本自転車普及協会



この事業は、競輪の補助金を受けて
実施したものです。

<http://ringring-keirin.jp>

もくじ

- 東京アースライド2010大会概要 P1
- ブース出展 P2
- パネル展示・映像放映／来場者意識調査 P3
- 展示パネル一覧 P4
- 体験型アトラクション P5
- 参加者交流企画 P6
- デモンストレーション／自転車市民権宣言署名活動 P7
- 閉会式／ステージ設営 P8
- 制作物／補助事業PR P9
- メインステージ・会場全体 P10
- アンケート集計結果 P11
- その他(大会全体実績) P16
- 事業の総評 P17

大会概要

■開催要項

大会名称： 東京アースライド2010

日 程： 2010年10月11日（月・祝） 体育の日

会 場： お台場 潮風公園 太陽の広場 （品川区東八潮1,2）

主 催： 東京アースライド実行委員会

構成団体： （財）日本自転車普及協会、（株）フジテレビジョン、（株）東京臨海ホールディングス、
NPO自転車活用推進研究会、（株）マルチスポーツ・インターナショナル

後 援： （財）日本サイクリング協会、（財）自転車産業振興協会、（社）日本トライアスロン連合

■趣旨

東京を自転車で楽しみながら、バイコロジー＝自転車による環境意識を高め、東京を自転車にとって優しい街、地球にとって優しい街にしていけるためのメッセージイベント。

参加者全員によるCO2削減量の計測や、自転車に乗る人のマナー向上の訴求にも繋げていく。

■目的

- ・イベントを通じて自転車の利用を促進し、地球環境保護の意識向上を図る。
- ・自転車利用マナー向上と自転車環境の改善を訴え、都市における自転車環境の整備を広く訴求する。
- ・東京を再発見してもらうとともに、イベント開催により臨海地域の活性化を目指す。
- ・自転車に乗る事で得る健康と、豊かなライフスタイルの提案を拡げていく。

お台場 潮風公園 太陽の広場

- ・ゆりかもめ
「台場」or「船の科学館」
下車 徒歩5分
- ・都バス(虹01系統)
「台場」下車

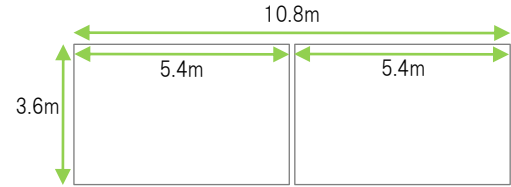


ブース出展

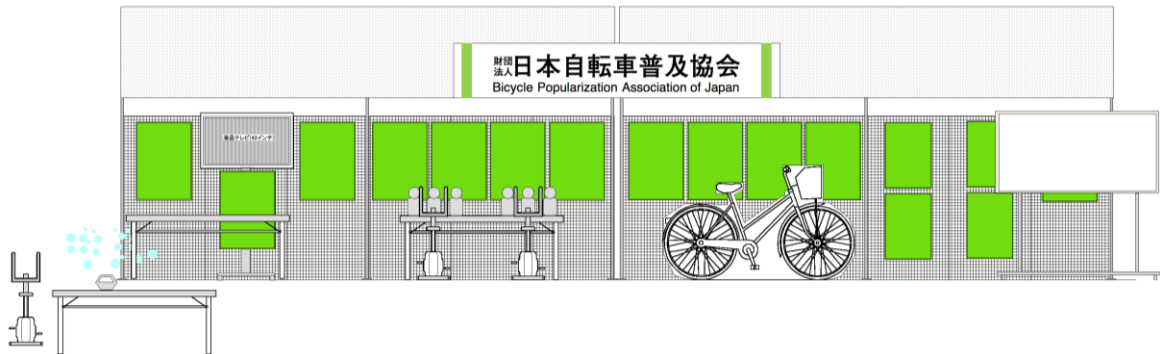
出展ブース概要

■CO2を排出しない環境にやさしい乗り物である自転車を積極的にPRするとともに、自転車乗用環境改善や自転車利用時のマナー向上を普及啓発することを目的として出展を行った。

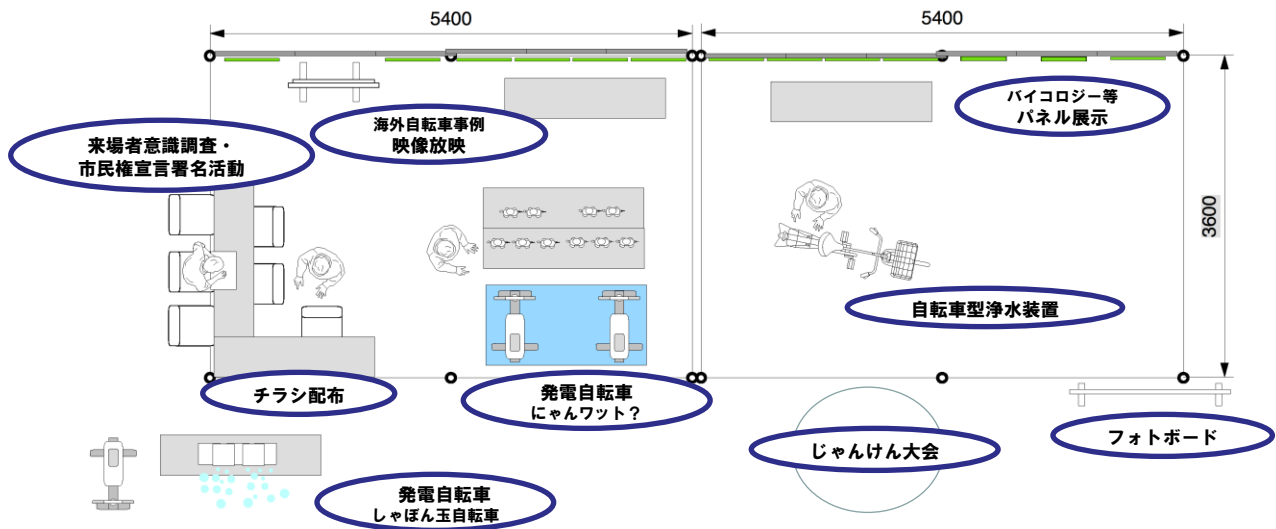
3間(約 5.4 m)×2間(約 3.6 m)テント ×2張分(W10.8m×D3.6m)



ブース立面図



ブース平面図



パネル展示・映像放映

■パネル展示（次ページ参照）、DVD映像放映を行い、エコな乗り物である自転車の有用性を大会参加者・一般来場者の方々に広く訴求した。また併せて、交通安全チラシ等を配布し、安全利用の普及啓発を行った。



DVD放映（欧州の自転車先進事例）

来場者意識調査・チラシの配布等



■本会ブースに立ち寄られた方々にアンケート調査を実施。集計結果は、P11～15参照。

- チラシ・リーフレット等の配布
 - ・交通安全ルールマナーチラシ
 - ・さいたま市コミュニティサイクル社会実験リーフレット
 - ・自転車セミナー開催案内チラシ
 - ・バイコロジ冊子&反射材付きティッシュ
 - ・クリーンキャンペーンリーフレット&ティッシュ
 - ・補助事業「夢への補助輪」チラシ
 - ・自転車市民権宣言PRチラシ

展示パネル一覧

バイコロジ



バイコロー



自転車活きる街

バイコローってなに？

バイコローとは、**バイク**（自転車）と**エコロジー**（生態学）の造語で、1981年にアメリカで提唱されたのが起源です。

自動車やバイク、自転車等、公道や私有地を利用する交通手段をうまく使い、環境を破壊することなく暮らしの利便性を中心とする上での交通手段のバイコローは、近頃ますます注目を集めています。日本に定着するまで時間がかかりました。

様々な交通手段をうまく活用することや自転車等が安全かつ快適に利用できることを目指すことが必要で、自然環境や、人間環境ともに良好な環境状態を必要とするバイコロー運動です。



バイコロー

バイコローの理念

自転車が安全かつ快適に利用できる環境（＝自転車天国）をつくる

バイコローの活動



「安全かつ快適に自転車を利用できる環境」を創出するために、自転車利用者の安全意識を高め、安全な交通手段としての自転車の魅力を伝える活動を行います。



「安全かつ快適に自転車を利用できる環境」を創出するために、自転車利用者の安全意識を高め、安全な交通手段としての自転車の魅力を伝える活動を行います。



「安全かつ快適に自転車を利用できる環境」を創出するために、自転車利用者の安全意識を高め、安全な交通手段としての自転車の魅力を伝える活動を行います。

[illegible][illegible]

自転車は正しいルールを守りましょう

自転車安全通行六則

①自転車は、車道が狭い、歩道は例外  ※ 狭い道路は歩道側を通行	②車道は左列を通行  ※ 左列は左折・右折・右折・右折
③歩道は歩行優先で、車道寄りを歩行  ※ 歩道は歩行優先で、車道寄りを歩行	④安全ルールを守る <div><div><p>横断歩道を渡る時</p></div><div><p>二人乗りは禁止</p></div><div><p>安全ヘルメットを装着</p></div><div><p>手信号をしっかりとる</p></div><div><p>ベルを鳴らす</p></div><div><p>道路前方への一時停止と安全確認</p></div></div>
⑤子どもはヘルメットを着用  ※ 子どもはヘルメットを着用	⑥道中の危険事項 <div><p>後方への危険確認</p></div> <div><p>安全に運転</p></div>

自転車で健康増進

自転車は有酸素運動、メタボに効く

毎日の通勤・通学に自転車を使う方は、無意識に有酸素運動、メタボに効く運動を行っています。有酸素運動は脂肪を燃焼させる運動で、運動後に消費されるエネルギーは、運動中に消費したエネルギーよりも多くなります。脂肪を燃焼させるには、運動後に消費するエネルギーが多ければいいです。脂肪を燃焼させるには、運動後に消費するエネルギーが多ければいいです。脂肪を燃焼させるには、運動後に消費するエネルギーが多ければいいです。



食料制限だけではダメ



運動して食べてやせる

例：体重45kgの人が自転車乗用時間15分を10分と60分と分けて乗ると、10分より60分の1倍の消費カロリーが期待できます。

300kcal =

約1ハンバーガー1コ分

自転車を使った利点

- 長時間運動出来る
 - ・通勤・通学に自転車を使う場合は、通勤・通学に使う15分が長時間運動になります。
 - ・通勤・通学、買い物、散歩など、長い時間運動が期待できます。
- 燃費が安い
 - ・自転車は走るにつれて呼吸が浅くなるので、燃費が少なくて済みます。
 - ・燃費が少なくて済みます。
- 運動の負担が少ない
 - ・自転車に乗ることで運動の負担が軽減され、運動が楽になります。
- 心臓の負担が少ない
 - ・心臓の負担が少ないので、運動の負担が軽減され、運動が楽になります。



[illegible][illegible][illegible]

さいたま市コミュニティサイクル社会実験

[illegible]

◆コミュニティサイクル 国内事例◆

【東京都/世田谷区】

■名称:「がやりん」／ 導入台数:1000台

実用エリア/ポートの例

【富山県】

■名称:「スクロシティ富山」／ 導入台数:150台

実用エリア/ポートの例

◆コミュニティサイクル 海外事例◆

◆コミュニティサイクルとは？◆

Point 1 「自転車」を使った新しい交通システムです！

公共交通機関の一つとして、登録をすれば誰でもサイクルポートにある自転車をおかりして自由に利用する事ができます。海外では広く普及しており、環境対策の一つとして日本でも今後の導入が期待されます。

Point 2 レンタサイクルとは違います！

レンタルサイクル（必ず予約必須）と異なり、近郊に出かけるシステムとは異なり、複数のサイクルポート（貸出拠点を設置）、どのポートでも自由に貸出に貸出と返却ができる新しい都市交通システムです。





にゃんワット？

* 発電量に応じてカワイイぬいぐるみが踊るエアロバイク発電機 *

■ 子供から大人まで、大会参加者・一般来場者が、気軽に自転車のエネルギー活用を体験をすることができ、楽しみながら環境についての理解を深めることができた。体験して頂いた方には(株)伊藤園さまのご協賛により、「お～い お茶」をプレゼントした。

■ 参加者数 217名



伊藤園



しゃぼん玉自転車

* しゃぼん玉を発生させるエアロバイク発電機 *

■ 特に小さな子供たちに大人気だった。子供が楽しみながら環境について理解を深めることができた。体験して頂いた方には(株)伊藤園さまのご協賛により、「お～い お茶」をプレゼントした。

■ 参加者数 148名



伊藤園



参加者交流企画

じゃんけん大会

- じゃんけん大会を適時開催し、多くの方に参加いただいた。ブースが活気づき、盛り上がった。
- 勝者には、サーモス様のご協賛により、マイボトルに役立つ「THERMOSペットボトルキャップ&クーラー」をプレゼントした。

■参加者数 311名



はい、チーズ！

- 大会参加者・一般来場者のひとりひとりをフューチャーし、全員参加の大会を演出し、家族・グループの思い出づくり、また、ゴールの達成感をメッセージとして届ける演出となった。
- また、いただいたメッセージの一部は、HPで紹介した。

■参加者数 123名(50組)



7

閉会式／ステージ設営

閉 会 式



フジテレビスポーツメディア事業部菊池部長より、
阿部大会実行委員長へ、「自転車環境メッセージ」
の贈呈

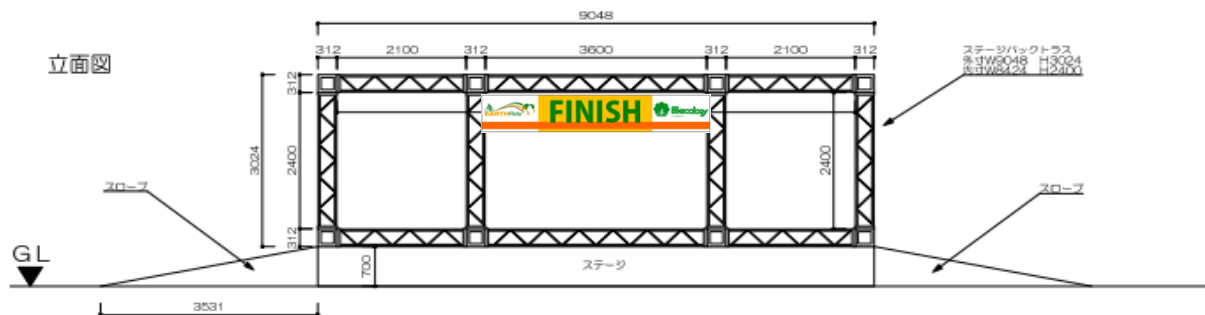


ゲストライダー玉ちゃん(浅草キッド)より、CO2削減量を発表。『17.7t』の削減。

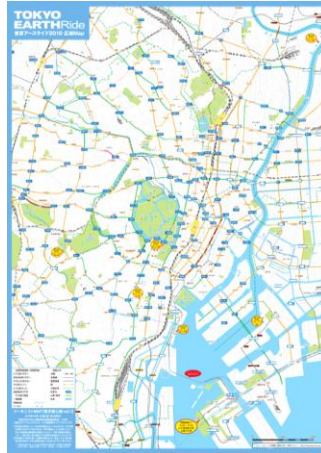


阿部毅一郎大会実行委員長((財)日本自転車普及協会会長)より、閉会のあいさつ

ステージ設営



制作物



■サイクリングマップ(事前配布)

6か所のチェックポイントや自転車の走りやすさを色分けした、オリジナルルートマップを制作した。

■参加者章(事前配布)

参加の目印となる手ぬぐい。自転車などに巻きつけ走行し、参加者同士の交流が図られるアイテムとして活用された。

■完走証

完走者に配布。CO2削減量を記載。



補助事業PR

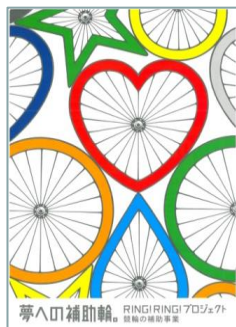


■競輪ロゴマークの掲出

- ・ステージサイドパネル2カ所
- ・自普協ブース内4カ所
- ・配布物(マップ、完走証、手拭い)

■補助事業パネル掲示

■補助事業チランシの配布を行った。



メインステージ・会場全体



MC: 白戸太朗氏、絹代氏、サツシャ氏
ゲストライダー: 小笠原崇裕氏(プロMTBライダー)



ゲストライダー: 片山右京氏(元F1レーサー)



ゲストライダー: 足田智氏(自転車ツーキニスト)



ゲストライダー: 玉ちゃん(浅草キッド)



ボサノバライブ: NILO氏



シークレットライブ: アイドリング!!!



アースライド参加者のステージインタビュー、個人、家族のほか、グループでの参加も多くみられた。



多くの来場者でにぎわった会場

参加者・ゲストで記念撮影

アンケート票

自転車に関するアンケート

Q1 性別 ☐ a.男性 ☐ b.女性 Q2 年齢 ☐ ~10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代~

Q3 お住まい ☐ a.東京23区内 ☐ b.東京23区外 ☐ c.神奈川県 ☐ d.千葉県 ☐ e.埼玉県 ☐ f.その他()

Q4 来場目的は何ですか？(1つのみ)
☐ a.アースライドに参加した ☐ b.家族・知人がアースライドに参加した ☐ c.アースライドに興味があった
☐ d.たまたま通りかかった ☐ e.その他()

Q5 自転車の利用目的は何ですか？(1つのみ)
☐ a.通勤・通学 ☐ b.買い物 ☐ c.趣味・楽しみから ☐ d.体力づくり・トレーニング ☐ e.健康、ダイエットのため
☐ f.環境のため ☐ g.その他()

Q6 参加したい自転車イベントはありますか？(2つまで)
☐ a.ロードレース ☐ b.ヒルクライム ☐ c.ボタリング ☐ d.サイクリング ☐ e.グランフォンド ☐ f.ロングライド(ブルベ)
☐ g.競輪 ☐ h.その他() ☐ i.ない

Q7 参加したいセミナー・講習会はありますか？(2つまで)
☐ a.初心者向け自転車セミナー ☐ b.ライディングテクニック ☐ c.メンテナンス・整備 ☐ d.健康・ダイエット ☐ e.自転車ファッション
☐ f.交通ルール・マナー ☐ g.輸送セミナー ☐ h.レース参加セミナー ☐ i.その他() ☐ j.ない

Q8 普段自転車に乗っていて、特に危険だと感じる自転車の乗り方は？(いくつでも)
☐ a.信号無視 ☐ b.一時停止、安全確認をしない ☐ c.夜間、ライトをつけない ☐ d.携帯で通話・メールをしながら走る
☐ e.傘さし運転 ☐ f.音楽を聴きながら運転する ☐ g.二人乗り ☐ h.飲酒運転 ☐ i.友達と話しながら並走する
☐ j.スピードの出しすぎ ☐ k.車道を逆走 ☐ l.歩行者優先を守っていない ☐ m.その他()

Q9 あなたは、歩道のある道路では、どこを走っていますか？(1つのみ)
☐ a.いつも車道 ☐ b.いつも歩道 ☐ c.ほとんど車道・ときどき歩道 ☐ d.ほとんど歩道・ときどき車道
☐ e.走りやすいところを走る ☐ f.特に決めていない ☐ g.その他()

Q10 自転車利用の環境について、不満や改善してほしいことはありますか？(2つまで)
☐ a.自転車専用道路(自転車レーン)を整備してほしい ☐ b.クルマの路上駐車をなくしてほしい ☐ c.駐輪場を作してほしい
☐ d.クルマが自転車に配慮してほしい ☐ e.その他()

Q11 日本自転車普及協会のブースに興味深かったもの、面白かったものはありますか？(2つまで)
☐ a.ニャンワット ☐ b.シャボン玉自転車 ☐ c.自転車浄水器 ☐ d.はい、チーズ！ ☐ e.展示パネル ☐ f.ない

Q12 環境のために普段、心がけていることはありますか？(2つまで)
☐ a.自転車に乗る ☐ b.節電・節水 ☐ c.マイバイクを使う ☐ d.マイボールを使う ☐ e.車に乗る機会を減らす
☐ f.その他()

★★その他、自転車に関するご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。★★

ご協力ありがとうございました！

自転車市民権宣言にご賛同ください！！

- 私たちは、車両の仲間として左側通行を厳守します。
- 私たちは、歩行者を優先し、クルマとともに車道を走ります。
- 私たちは、ルールや信号を守り、いつも一時停止して安全を確認します。
- 私たちは、ヘルメット着用につとめ、夜間にはライトを点灯し、万の一のために保険に加入します。
- 私たちは、自転車を正しく管理し、決して放置しません。
- 私たちは、自転車に高い安全性を求め、安全を維持する整備を怠りません。
- 私たちは、ドライバーが自転車も車道を走る仲間として認識することを求めます。
- 私たちは、安全快適に走ることできる道路の整備と安全な運転を脅かす違法駐停車の排除を求めます。
- 私たちは、便利で盗難やいたずらのない駐輪場の確保と、シャワーや着替えができる施設の整備を求めます。
- 私たちは、自転車の「市民権」確立のため努力します。

ご賛同いただける方は、ご署名をお願いします。☞

ご署名: _____

■アンケート調査目的

アースライド参加者・一般来場者に対し、自転車を安全かつ快適に利用するための環境整備の方策、本会の事業展開等に関する来場者の認識を把握すること、ならびに自転車市民権宣言賛同署名を得ることを目的に実施した。

■アンケート調査方法

本会ブースに立ち寄られた方、アトラクション等に参加いただいた方を中心に、アンケート用紙を配布し、自ら記入していただいた。

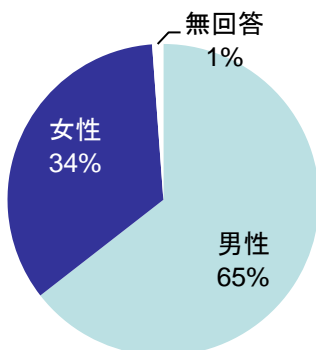
■回答数 259名

(設問により複数回答可としたため、回答者数合計が259を上回るものもある。)

■回答いただいた方に、反射素材のバイロジーストラップを配布し、自転車の安全利用を呼びかけた。

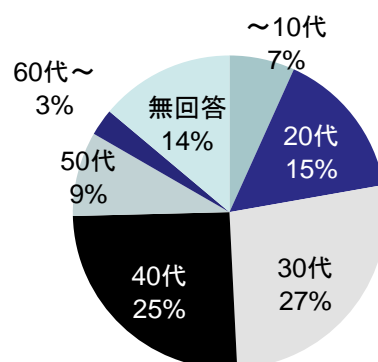


Q1 性別



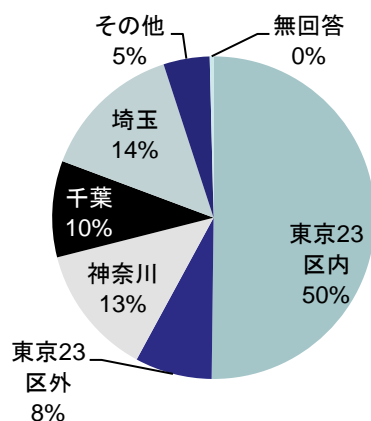
男性が65%で、女性34%を上回っているが、昨年は、8割を男性が占めていたことから、今年は、女性の来場者・参加者が増加していることが伺える。

Q2 年齢



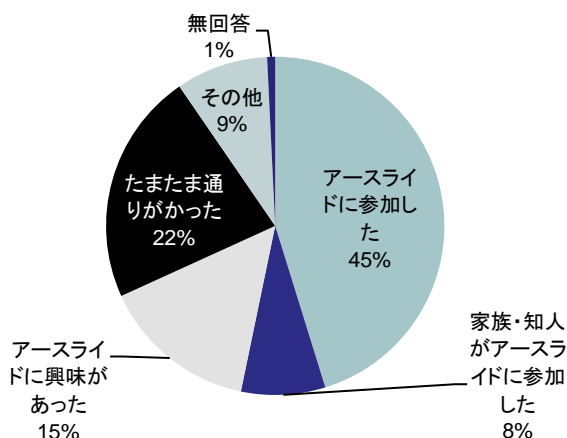
年代では、20代~40代が大半をしめているが、幅広い年代の方に立ち寄っていただけた。

Q3 お住まい



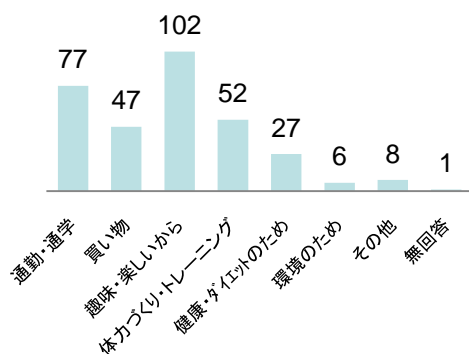
■23区内が半数を占めた。

Q4 来場の目的は何ですか？



■今回、アースライドと同時に臨海レインボーウォークも開催され、同会場がゴール地点となり、アースライド参加者以外にも多くの方にブースへ立ち寄っていただき、広く自転車をPRする事ができた。

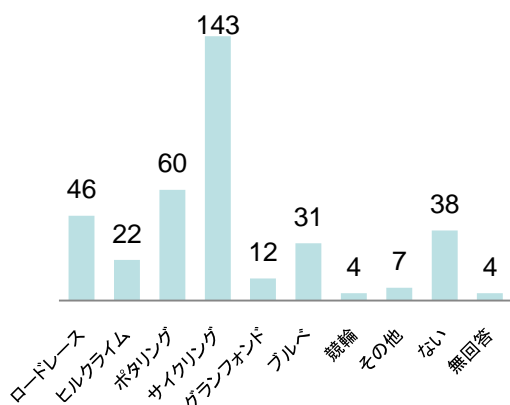
Q5 自転車の利用目的は何ですか？(1つのみ)



■もっとも多かったのは、「趣味・楽しいから」であった。エコを意識したイベントであるが、“環境のため”に乗っている方は、意外にも少なかった。“ただ楽しいから乗る”というシンプルな考えで自転車をライフスタイルにうまく取り入れて楽しんでいる方が増えているのではないだろうか。

■通勤通学、買い物などはやはり便利な乗りものとして活用されている方と健康志向にも一役買っているようである。

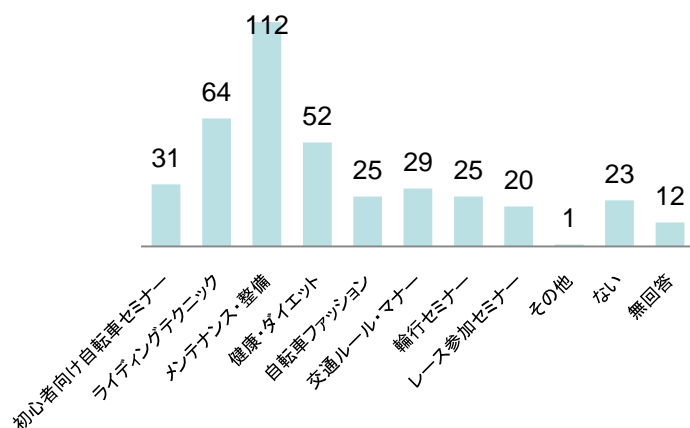
Q6 参加したい自転車イベントはありますか？



■比較的気軽に始められるサイクリングに人気が集まった。Q5の間で「通勤・通学」、「買い物」と回答された方の中でもサイクリングイベントへの参加意思がある方が半数近い結果となった。交通手段の自転車から、レジャーとしての自転車に目覚める方も多いのではないだろうか。

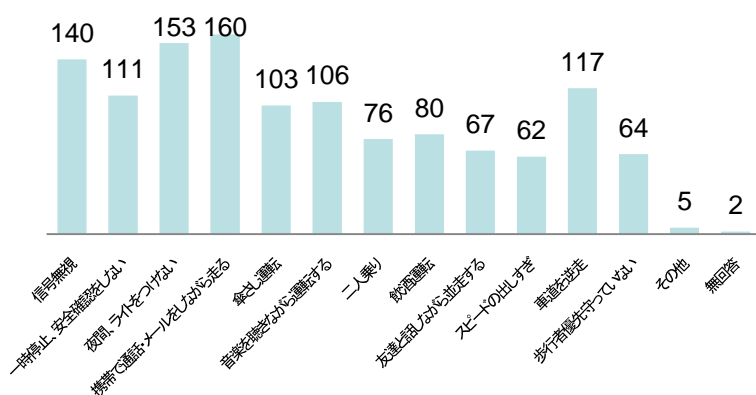
グランfond・・・長距離(140~200kmの程度)を自転車で走る。
フルベ・・・制限時間内で完走の認定を伴う長距離ロングライドイベント。

Q7 参加したいセミナー・講習会はありますか？(2つまで)



■「メンテナンス・整備」が多かった。多くのの方が、自転車を「安心・安全」に乗ることを心がけ、整備の必要性を認識しているのではないだろうか。特にスポーツバイクや高級自転車のユーザーはメンテナンス・整備を重視していることがうかがえる。

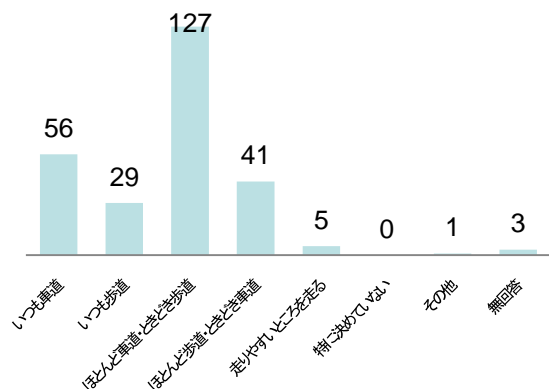
Q8 普段自転車に乗っていて危険だと感じる自転車の乗り方は？(いくつでも)



■複数回答可の設問としたが、平均4.7個を選択している。危険運転は、やはり多くの方が直面し、問題視していることがわかる。
■最も多かったのは、「携帯で通話・メールをしながら走る」であった。片手運転のうえ、注意力も散漫となり、歩行者・交通弱者に大変迷惑である。

■「自転車安全利用五則」を中心にさらなる安全ルール、利用マナー向上を啓発をしていく必要性を再認識した。

Q9 あなたは歩道のある道路では、どこを走ってますか？(1つのみ)



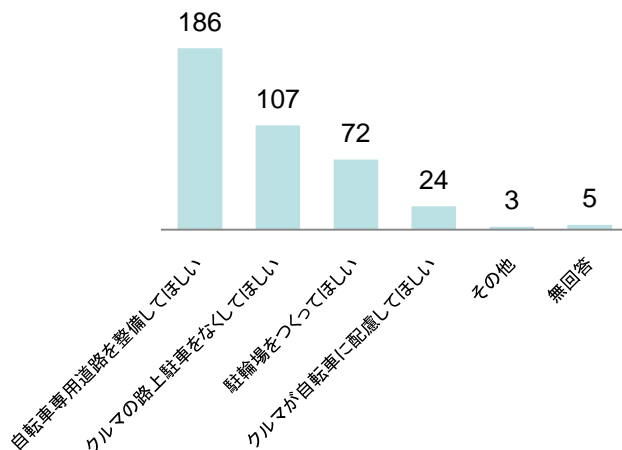
■歩道のある車道に限定した設問だが、「ほとんど車道・ときどき歩道」が最も多かった。日頃から自転車を利用する機会が多いユーザーは車道走行を認識されているようだ。

■「走りやすいところを走る」、「特に決めていない」といったルールに無関心な回答をされた方はとても少なく、本イベント参加者の意識の高さがうかがえた。

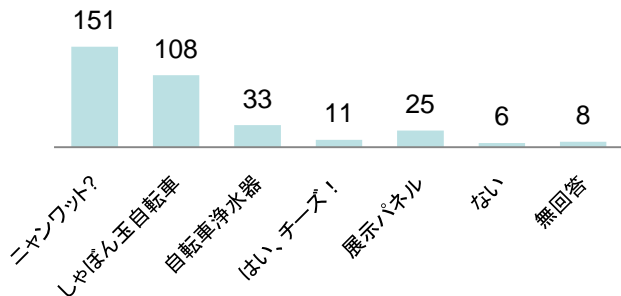
Q10 自転車の環境について、不満や改善してほしいことはありますか？(2つまで)

■「自転車専用道路を整備してほしい」が最も多かった。

■次いで「クルマの路上駐車をなくしてほしい」であった。Q5の問いで、「いつも車道」、「ほとんど車道・ときどき歩道」と回答した方が「クルマの路上駐車をなくしてほしい」と思っている方が多く、ルールを守り、左側通行をしているにも限らず、路上の迷惑駐車により走行を妨げられている現状があることは、問題である。道路環境改善の働きかけが必要だと感じる。



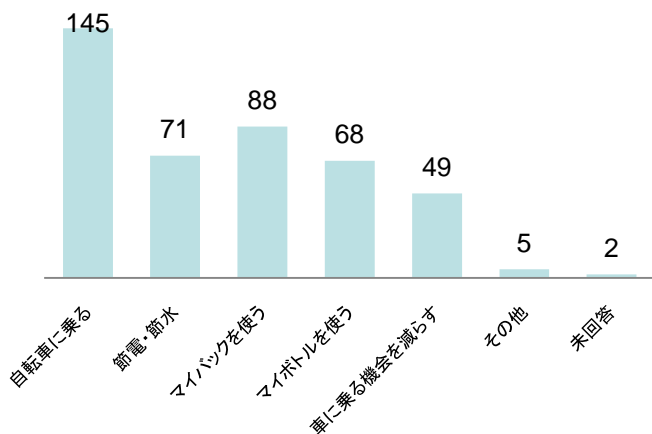
Q11 日本自転車普及協会のブースで興味深かったもの、面白かったものはありますか？(2つまで)



■体験型アトラクションの「ニャンワット?」、「しゃぼん玉自転車」は、人気も高かった。

■子供から大人までチャレンジできる発電自転車は、分かりやすく、地球環境について楽しく学んでいただけた。

Q12 環境のために普段、心がけていることはありますか？(2つまで)



■6割以上の方が、自転車＝環境にやさしい乗り物ということを理解し、実践している方が多いことが伺える。

■移動手段をできるだけ車から自転車に変えている方も多いことが分かった。

★その他、自転車に関する自由コメント欄を以下(1)～(4)に分類した。

(1) 左側走行の徹底

- ・逆走を厳しく取り締まってほしい。
- ・逆走の問題は特になんとかしていく必要があると考えています。
- ・逆走を逆走と感じていない。広まっていない感じがします。
- ・自転車は左走行すること。

■アンケート(Q7)の結果でも117人と多くの方が、逆走の危険を感じるとしている。自転車の右側走行は、自転車同士、車・バイクとの接触、衝突の危険性が高く大変危険である。『KEEP LEFT』活動を中心に周知していく必要がある。

(2) 利用環境の改善要望

- ・生活道路に自動車が進入しないよう、自転車と歩行者が通行しやすい環境整備をもっと進めてもらいたい。
- ・車道を走りやすい環境をつくってほしい。
- ・自転車レーンの整備
- ・自転車道を整備してほしい。段差は少なく。
- ・もっと街に駐輪場を増やしてほしい。

■ユーザーは、自転車専用道路の整備を望んでいる。現状では、車道の左側を走りたいが、路上駐車が多くの専用道も対面相互走行がされ、走りやすい状況にない。
クルマが優先されていることで、自転車走行空間の整備が十分されていないために、車道を走れない状況がある。自転車専用道の整備拡大は、必要不可欠である。

(3) 新たな自転車活用の提言

- ・自転車のシェアリングができないだろうか。
- ・都内の電車でサイクルトレイン。
- ・街中で、レンタサイクルがもっと発展するといい。

■本会でも調査研究を行っている、サイクルシェアリング、サイクルトレイン、レンタサイクル(コミュニティサイクル)は、一般の方も注目し、期待を寄せている。

(4) イベントの開催

- ・自転車に関するイベント・講習会をもっと開いてほしい。
- ・イベントをお願いします。
- ・安全運転教室を行ってほしい。

■自転車ブームが定着してきているなか、イベント・セミナーへ参加し、楽しむアイテムとしての利用、知識を高めたいというニーズがあることが分かった。

その他(大会全体実績)

東京アースライド2010 エントリー数 1033名

都道府県	男性	女性	合計
福島県	2	0	2
茨城県	5	3	8
栃木県	7	1	8
群馬県	11	1	12
埼玉県	132	22	154
千葉県	88	22	110
東京都	378	112	490
神奈川県	171	51	222
新潟県	2	0	2
石川県	1	0	1
山梨県	2	1	3
長野県	1	0	1
静岡県	1	0	1
愛知県	7	1	8
三重県	1	0	1
大阪府	7	1	8
福岡県	2	0	2
合計	818	215	1033

年代	男性	女性	合計
10歳未満	10	5	15
10～19歳	28	3	31
20～29歳	146	39	185
30～39歳	284	104	388
40～49歳	255	55	310
50～59歳	75	8	83
60～69歳	18	2	20
70～79歳	1	0	1
80歳以上	0	0	0
合計	817	216	1033

協賛社 10社

- スペシャライズド
- SUUNTO
- マピオン
- チャンピオンシステム
- カナディアンクリスタ
- ホテルサンルート有明
- KHS
- マンハッタンポーテージ
- FELT
- SWANS

ブース出展社 23社

- (財)日本自転車普及協会
- 佐川急便
- スペシャライズドジャパン
- マンハッタンポーテージ
- KHS
- サイクルスポーツ
- FELT
- ファンライド
- MERIDA
- プレミナ
- サイクリングタイム
- 臨海レインボーウォーク
- 東京都環境局
- 感性リンゴ
- 東京都島しょ振興公社
- 稲城商工会関係企業「エル・シエロ」
- SUUNTOテラス
- SWANS
- チャンピオンシステム
- ENJOY! SPORT/コグウェイ
- KEEPLEFT(自転車活用推進研究会)
- SEV
- (社)日本トライアスロン連合

当日メディア取材 9社

- 株式会社シクロイマージュ
- フジテレビジョン
- 八重洲出版
- 株式会社フォトクリエイト
- 想いDEフォト
- 株式会社都恋堂
- 株式会社インターナショナルマーケティング
- フューチャーパイレーツ株式会社
- ファンライド

TV実績 2番組

- 番組名:FNNスピーク
放送日時:2010年10月11日(月・祝)
11時30分～12時00分
- 番組名:アイドリング!!!
放送日時:2010年10月19日(月)
深夜

本事業は、地球環境を守るためCO2の削減が喫緊の課題となっている昨今、地球温暖化問題をメインテーマとした自転車イベントに参画し、自転車の安全利用や利用環境の改善などを積極的に発信するとともに、自転車のさらなる普及啓発に努め、機械工業の振興に資することを目的に出展計画を立てた。

現在、アースライドは東京をはじめ、北海道・福井・京都・石垣島・宮崎などにおいて、それぞれの地域特性を活かし開催されており、自転車を通して本当の豊かさを感じ、仲間や地元の人々との交流を深め、共に環境の大切さを考え、美しい自然・音楽・文化を楽しんでもらうことを目的にした人気のロングライドイベントとして注目を集めている。

東京アースライドは、人気スポットお台場をゴール地点とし、休日の都心部を自転車で快走し、爽快感を満喫できることから好評を得ている。都内において参加者1000名を超える大規模な自転車イベントを交通規制をかけて開催することは難しいが、東京アースライドでは、スタート地点の自宅から、交通ルールを遵守し、指定されたゴールを目指す方式を採用することにより、交通規制をかけずに開催することができた。この方式は、今後のサイクリングイベントの拡大発展の可能性を高め、東京アースライドの成功がわが国の自転車イベントの新しい手本となっている。

また、タイムを競うレースとは異なり、各々のペースで交通ルール・マナーを守って走行し、家族や友人、仲間たちと共に一体感を醸成できることや、クルマでは見過ごしてしまう、街の再発見ができる新鮮さも大きな魅力となっており、初心者やリピーター、男女問わず幅広い年代の方々に参加いただいた。このようなイベントで、bike × ecology = バイコロジーの理念を広くPRする事は大変効果的であると考えられる。

会場内では自転車メーカー、自転車関連企業、自転車関係団体が多数出展し、大会を盛り上げた。次年度モデルの展示・試乗を実施するメーカーもあり、来場者から好評を得た。

自転車専門誌による取材・大会終了後の記事掲載や映像のインターネット配信など、自転車愛好者に向けた啓発活動も行われた。また、テレビ局が主催構成団体の一員となり、事業を展開したことにより、幅広い一般層にも訴えることができ、高い普及啓発効果が期待できる。

CO2を排出しない環境にやさしい乗り物として、自転車の利用が注目される中で、ライフスタイルに上手く自転車を取り入れ、自分なりの楽しみ方を見いだしている方も増えてきているが、その一方で、自転車交通事故は後を絶たず、昨今では、自転車加害者となる事故も急増している。

こうした中、アースライドでは、参加者全員に乗り手のマナーと安全走行を徹底するよう呼びかけた結果、自発的に交通ルールを守ろうという参加者が増え、さらには参加者一人一人が意識し、周囲に呼びかけていくことで、マナー向上・ルール遵守の輪が拡大していくことが期待される。

本会が実施したアンケート調査、自転車市民権宣言署名活動からは、自転車ユーザーの視点から貴重な意見が多く寄せられ、署名においては211名の方にご賛同いただくことができた。

「自転車は車道の左側」を走るということを周知徹底してほしいという声が多く、自転車愛好者にとっても、街中で見かける右側を走る“逆走自転車”の危険性は、見過ごせない問題となっている。本会では「KEEP LEFT」運動を推奨し、周知活動を継続していくことが重要であると感じた。さらに「自転車専用道や自転車レーンの整備」に期待を寄せる声も多かった。交通弱者に配慮し、安全ルールに則した自転車道・自転車レーンのインフラ整備を促進していくことが、自転車事故減少へ必要不可欠であると実感した。

たくさんの利点を持つ自転車の魅力をより広く多くの方々にPRし、“クルマ利用者”から“自転車利用者”へモダリティシフトを推奨していきたいと考える。また、歩行者の安全に十分配慮し、自転車がより安全で快適に利用できる環境づくりを進めるため、引き続き、バイコロジー運動、自転車市民権宣言普及啓発活動を通じ、広く周知していくこととしたい。

2010年12月

財団法人 日本自転車普及協会

〒107-0052東京都港区赤坂1-9-3

<http://www.bpaj.or.jp/>



この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。
<http://ringring-keirin.jp>